

意見交換の実施について

令和5年11月30日(木)に、18名の公園利用者・地域の皆様が参加した「第33回碑文谷公園を話し合う会」において、ワークショップ形式によりテーマごとに参加者同士で意見交換を行いました。公民連携は、将来の目標や理想を実現したり、課題を解決するための手段の一つであるという考えのもと、碑文谷公園のより良い未来に向けてアイデアを出しました。

1 意見交換の結果

テーマ	分類	主な意見
① 碑文谷公園の良い点	施設等	みどり・いきもの、池・ボート、運動、動物とのふれあい
	利用者の多さ	子どもが多い、利用者同士の交流、幅広い年齢層が利用、利用者が多く1日中人の目があり安心
	周辺環境	立地・アクセスの良さ
①' 碑文谷公園の悪い点	みどり	外来種を伐採すること、落ち葉清掃やりすぎ、桜が少なくなった
	施設	遊具、園路の傷み、池の水質、トイレ、暗い、駐輪場が少ない、ベンチ、雨を受ける屋根がない
	利用マナー	夜間騒がしい、ゴミのポイ捨て、犬の糞
② ①を踏まえて、どのような碑文谷公園を残したいか	保全	自然、動物とのふれあい、桜
	充実	動物との触れ合いを拡充、子どもの遊びの充実
	子ども	安全に遊べる場所、子どもの居場所、子どもたちの原風景
	連携	関係者の横連携、若い人の場づくり
	その他	静かに過ごせる公園、地元の人のための公園
③ ②のような碑文谷公園の実現に向けて何があと良いか	施設	ベンチ、あずまや、雨宿りの場所、休憩できる場所、飲食できる店、キッチンカー
	運営	池と砂場の管理・植物の剪定・日よけに収支を回せると良い、週末等の相談窓口
	ボランティア・見守り	夜にも誰かの目がほしい、防犯カメラの充実、常駐で見守る人、子どもを遊ばせる人、ボランティアによる掃除やゴミ拾い、ボランティア活動へのインセンティブ
	子ども	子どもの意見を聞く、小学生と未就学児の遊ぶスペースを分ける(球技利用など)
	若年層	若年層向けのイベントを年2回くらい、若年層との連携
その他意見等	実証実験イベント	にぎやかだった、今後も実施してはどうか、子どもが楽しめなかった、外の人がたくさんきても地元のことを思っているわけではない
	公民連携	Park-PFI への肯定、公民連携しなくて良い、ショップは高架下であればよい、地域が意見を言える場を設定すること

2 意見交換の様子

